

保育園の自己評価を終えて

今年度も着眼点一つひとつについて自分たちが行っている保育を見直すかたちで職員とともに自己評価を行いました。

昨年以上にコロナウイルス感染症拡大防止ということに振り回された令和 3 年度でした。コロナ禍の保育という点で、今までやってきたことができなかったことで評価に迷う職員も多かったのですが、例年行ってきた保育を基本に評価しました。

毎年評価を行うことで着眼点を意識できる職員も増えてきましたが、関わりが薄い部分で評価が低くなっていると感じる点で、理解を深めていけるような工夫をしていく必要を感じました。

また、質の向上という点では、それぞれの経験に応じて職員が求められている職責や職務内容も明確化されており、毎年一人ひとりが目標の設定を行い、年度末に達成度や振り返りを記入していますが、節々での面談を大切に考え、園長・副園長・主任と共に振り返りをこまめに行うことで、職員一人ひとりの質の向上や全体の保育力向上につなげたいと思います。

保育の面では、子どもたちと共に保育園の中でできる「SDGs」も意識していきたいと考えています。

今後も保護者アンケートや行事アンケートから保護者のニーズを把握しつつ、園として改善点をみつけ、また、感染症拡大防止という点にも配慮し、保護者の皆様の協力を得ながら、信頼される保育園の運営をしていきたいと思っています。

令和 4 年 3 月

横浜みなとみらい保育園 園長 木下かおり